

施策	道路	水路	管路	全般	番号	具体的な施策	ツチケ	キーワード I	キーワード II
A・計画手法の見直し				●	①	施工を非出水期に行うことによる仮設工(水替・仮締切等)の簡易化		仮設工	非出水期
		●			②	既設水路の活用等、排水ルートの見直しによる水路延長や断面の縮小化		水路	断面縮小化
				●	③	道路管理者等、関係機関との事前協議による夜間施工を昼間施工へ変更		夜間施工	事前協議
		●	●		④	新工法や新素材、新管材の採用による浅層埋設		浅層埋設	新管材
	●				⑤	地形を考慮した計画による構造物の縮小化(路側擁壁断面の縮小化等)		路側構造物	断面縮小化
	●				⑥	民地開発と調整することによる路側構造物の簡略化(路側擁壁を土羽に簡略化)		路側構造物	民地開発
	●	●			⑦	小スパン橋梁(床版橋等)をボックスカルバートへ型式変更		小スパン橋梁	型式変更
		●	●		⑧	管種を安価なものに変更(ヒューム管を塩ビ管)		管種変更	樹脂管
		●	●		⑨	管種を塗装塗り替えの不要なものに変更(鋼管をSUS管)		管種変更	塗装塗り替え
B・設計手法の見直し				●	①	仮締切区間において、側圧が小さく、水量が少ない区間での軽量鋼矢板の採用		仮締切	軽量鋼矢板
		●	●		②	粗度係数が小さい部材(2次製品等)の使用による断面の縮小化		粗度係数	断面縮小化
	●				③	法面工としてモルタル吹付工等でなく、安価な植生工へ変更		法面工	植生工
	●				④	直高5m未満でなおかつ重要構造物とならない区間でのブロック積工法の採用		ブロック積み	重要構造物
	●	●			⑤	水路蓋としてグレーチングとする区間を、全線でなく、管理可能な範囲で縮小化		水路蓋	グレーチング
		●			⑥	縦断勾配を自由に操作できる区間では、自由勾配側溝でなく、安価なトラフに変更		自由勾配側溝	勾配操作要否
				●	⑦	交通特性に応じて舗装構成を簡易化(表層工4cm+上層路盤工7cm)		舗装構成	ローカルルール
				●	⑧	2次製品の使用による現場作業の軽減(型枠作業等の解消によるコスト縮減)		2次製品	
				●	⑨	マンホールや樹等の部材をコンクリート製品から樹脂製品へ変更		部材材質変更	樹脂製品
				●	⑩	マンホールや樹の配置間隔を、維持管理に支障とならない範囲(機械清掃等)で長スパン化		配置間隔	長スパン化
				●	⑪	原地盤の支持力調査により舗装構成を安価なものへ変更		原地盤支持力	舗装構成
	●				⑫	用地買収費と工事費の比較検討による路側構造物の小型化または土羽化		用地買収	路側小型化
	●	●			⑬	既存擁壁や床版橋等が活用できる場合は、継ぎ足し等、既存構造物の有効活用を図る		既存施設活用	継ぎ足し
				●	⑭	植栽時、新しい樹木の購入だけでなく、既存の植生や樹木の移植を検討		植栽	既存植栽活用
	●	●			⑮	同一工区内の工事では、鋼矢板、支保工、覆工板、水替ポンプ等、仮設工の転用を図る		仮設工転用	工区内転用
		●			⑯	定規断面の改修にこだわらず、既設護岸の有効活用を図る		定規断面	既設護岸活用
		●			⑰	大型建設機械の採用		大型重機	

施策	道路	水路	管路	全般	番号	具体的な施策	チェック	キーワード I	キーワード II
C・基準の見直し				●	①	市独自基準により、交通量や道路幅員に応じた路側擁壁を採用(断面の縮小化)		ローカルルール	擁壁小型化
				●	②	市独自の特記仕様書に基づいた交通整理員の配置による安全費の削減		ローカルルール	交通整理員
				●	③	2次製品の大型製品や長尺製品を採用		2次製品	大型・長尺化
D・建設副産物対策				●	①	切土量、盛土量のバランスをとった縦横断計画を行い、残土処分量を低減		切盛バランス	残土量低減
				●	②	不良土(軟弱土)を路体部等に使用して、残土処分量を低減		不良土使用	路体部
				●	③	現場間で土量調整を行い、購入土量を低減		現場間調整	土量調整
				●	④	不良土(軟弱土)をセメントや石灰で改良し、現場内・現場外で再利用し、不良土処分量を低減		不良土使用	安定処理
E・新工法の活用				●	①	新工法の採用		新工法	
				●	②	広幅鋼矢板の採用		広幅鋼矢板	
				●	③	基礎工法、補助工法の大口径化、高強度化、無排土化によるコストの削減		基礎・補助工	大口径化
	●	●	●		④	既設管路、開水路の損傷に対して、内面更正工法により再生		管路損傷	内面更正
			●		⑤	新管材や新しい推進工法の採用による立坑設置箇所数の削減		推進工法	立坑数減
	●				⑥	補強土壁工法による路側構造物の縮小化		補強土工法	路側断面縮小
F・戦略的な維持管理				●	①	予防保全の考え方から維持管理を行い、ライフサイクルコストを削減		予防保全	ライフサイクルコスト
		●			②	河床低下に対して、早期に帯工や根継工を施工し、護岸の延命化を図る		河床低下	帯工・根継工
				●	③	下塗り塗膜が露出する前に塗り替えを行う		塗装塗り替え	下塗り塗膜露出
G・その他					①				
					②				
					③				
					④				
					⑤				